

アウトドアクラブ活動における熊対策について

近年、全国的に熊による被害や目撃情報が多く報じられています。

滋賀 YMCA アウトドアクラブでは、自然の中での活動を通して子どもたちに豊かな体験を提供することを目的としていますが、同時に「安全の確保」を最優先として活動を行っています。

■ 熊への対応と安全対策

現在、滋賀県内では湖西の比良山系や湖東の米原地域などで熊の目撃情報が報告されています。

これらの地域で活動を行う場合は、以下のような対策を徹底し、十分な情報を得た上で実施を判断します。

- 県や市町が発表する最新の熊出没情報を確認し、遭遇リスクの高い地域は利用しません。
- 必要に応じて、活動地の変更やプログラムの中止を直前でも判断します。
- 山岳部などに近い地域では、リーダー全員が熊鈴を携帯し、行動中は音を出すことで熊に人の存在を知らせます。
- さらに、グループリーダーには熊撃退スプレーを携帯させ、万が一に備えます。
- 指導者には事前に熊との遭遇時対応に関するシミュレーショントレーニングを行っています。
- 山中や野外では、食材や残飯などを絶対に放置せず、熊を引き寄せる原因をつくらぬよう徹底します。

■ その他の安全配慮

熊だけでなく、スズメバチや野生動物など、季節ごとに注意が必要な生き物への対策も行っています。

活動当日は、スタッフ全員で状況を確認しながら、安全で楽しいプログラム運営に努めます。

「自然の中での体験」と「安全確保」は両立できるものです。

子どもたちが安心して自然とふれあい、学び、成長できるよう、今後も YMCA として最善の安全対策を講じてまいります。